



JN協会特別顧問 (空港施設代表取締役社長) 丸山 博

あけましておめでとうございます。  
昨年の訪日外客数は、2400万人を超えました。一昨年度での誘致目標が、2020年までに2000万人でしたから、4年前倒しで目標を達成したことになります。これを受け、昨年3月に決定された「明日の日本を支える観光ビジョン」では、訪日外客の誘致目標が、2020年に4000万人、2030年に6000万人とされました。

国土交通省は、実質的に日本の空の表玄関となりつつある羽田空港で、訪日客4000万人のための環境整備のため、2020年までに、3.9万回離発着枠を拡大するなどの機能強化を図ることとしています。羽田空港で仕事をしておりますが、2020年オリンピックイヤーに向け、着々と訪日外客数4000万人時代への準備が進んでいることが、手に取るようにわかります。国際ターミナルの横では、すでにホテルが開業しています。総客室数1700に及ぶホテル群も、空港隣接地域に2020年までに開業予定です。国内線ターミナルでも国際線にも対応できるよう機能強化が図られることになっています。空港で仕事をさせていただいている私どもも、訪日外客数4000万人時代に向けての環境整備の一翼を担いたいと願っております。

JN協会副理事長 (東海旅客鉄道(株)相談役) 須田 寛

「観光立国」飛躍の年に

新年おめでとうございます。年頭に当たり、皆様のご健勝ご発展を祈念申し上げます。

昨年は外国人訪日観光客が2000万人の大会を超えた(2403万人)節目の年となりました。今年も新しい2020年訪日外国人客4000万人達成に向かって、また国内観光客の9割を占める日本人観光客を低迷状況から脱却させるべく日本の観光を飛躍させる年にしたいと思えます。そのためには、深刻化してきたホテル(特に都市)の需給緩和が緊急の課題です。このため、ホテルの増強は勿論、稼働率の比較的低い旅館の活用、民泊の拡大等の総合対策が必要です。

これまでの各宿泊施設別の抜革的理合からの規制基準のあり方(相違)を見直し適正化すること。民泊等には新しい基準を設ける等して、全宿泊施設の規制・基準を統一して競争基盤を整えて発展させる基盤づくりが今後の観光発展の成否を握っていると考えられます。

このため、今年を「宿泊施設新秩序」確立とする観光基盤整備の年としなければなりません。宿泊施設は観光を資源にわたり充実させる原動力となるものであり、その充実を実現し今年を「観光立国」への飛躍の年としたいものと思います。

JN協会特別顧問 観光庁参与 本保 芳明  
国連世界観光機関駐日事務所代表

明けましておめでとうございます。  
昨年度、インバウンドが話題の中心の年となり、明日の日本を支える観光ビジョンの4千万人、6千万人の大目標で始末し、2千4百万人達成で終わったように思われます。

個人的には、2020年4千万人は難しく、3千万人台前半と思っていますが、インバウンドの着実な増大が暫く続くことは間違いない、日本人とは異なる巨大な客層の存在が、日本の観光産業を大きく変革させるものと見ています。

その中で、期待し大きな関心を抱いているのは、外国人需要に誘致された長期滞在型観光システムの確立、革新的な新サービスの登場です。これらが実現すれば、特定のピーク時の需要に依存し、サービス変革に乏しく、停滞気味の日本人の国内観光が大きく活性化し、真の観光立国への道が拓けるのではないかと期待しています。

JN協会副理事長 (元日本航空 副社長) 横山 善太

道標なき時代

先が良く見えぬ、それだけに楽しみな新年となりました。昨年、年始のご挨拶で混沌とした時代の到来に「哲学」が必要だと思うのですが進展が見られないのは「ノーベル賞に哲学」がないからではないかと揶揄しました。

今回ノーベル賞を受賞された大隈先生は受賞に当り先生の哲学をお話になり、小生の吹きは一蹴されました。先生は私は気が弱いため競争する様な事は出来ないで、独自の分野を研究することにしている結果であります。上、これは「研究者は(必ずしも)競争心を煽られて、真理を深めるのでは無いのです。」と。

競争が人間の進化を深めるが如き社会象に対する批判を控え目に表現したものでした。先生は更にストックホルムでの記念講演で「研究の成果が直ぐ産業や生活に具体的に役立っていないのでは有りません。我々研究者は原理を研究する仕事をしてありますがその事を理解していないことに感謝しております。」自然科学者の普遍的哲学が語られておられます。

私は常々資本主義が危ういにも拘らず、競争原理と云う品位を欠く発想、人間の尊厳を汚す考え方が気に入らないだけに、大隈先生の発言に喝采を送りたいと思いました。

アメリカこれほれ 47 「大統領を2度務めた男」



元JTB取締役 北村 嵩

バラク・オバマ大統領は建国以来、44代目のアメリカ大統領である。歴代の大統領でただ一人2度大統領を務めた人物がいるのは、43人目の大統領となる。その唯一大統領にカムバックを果たした人物は、第22代の大統領を一期務めた後、二期目の選挙で破れ、その次の



スティーブ・クロバー・クリーブランド

大統領選に再挑戦して当選。第24代大統領に返り咲いたグローバー・クリーブランドである。クリーブランドは貧しい牧師の第五子に生まれた。

大学には進学出来なかったが、苦学の後、弁護士資格をとり、ニューヨーク北部で活動していた。1881年に民主党から推薦された、バフアロー市の市長に当選した。その後ニューヨーク州知事にも選ばれ、行政改革や反暴政の

姿勢が評価されて、1884年の大統領選挙に民主党の大統領候補として立候補し、当選した。リンカーン大統領以来24年間続いた共和党政権が倒れ、久しぶりの民主党政権の誕生である。在任中の最大の争点は関税問題であった。

クリーブランドは共和党の高関税政策は消費者に不利をもたらすとし、関税の軽減を主張した。再選を目指して1888年の大統領選に望んだ。一方、共和党のB・ハリソン候補は、関税引き下げはイギリス製品を有利にするとして

反対した。現職有利と見られていたが投票日直前に在米イギリス大使が不用意に「イギリス政府はクレーブランドの再選を希望する」旨の文書を出したため、大衆の愛国心を刺激し、僅差で敗北した。しかしハリソンは、第23代大統領として公約通り一般関税を引き上げたため、生活必需品の価格が高騰し国民の不評を買った為、1892年の大統領選ではクレーブランドが大勝した。

この時代は、マーク・トゥエインが「金びかの時代」と名づけ、政財界の腐敗が激しかった。既存の共和・民主の両党に対する不満が大きくなり、人民党という第三政党が結成された。この年の大統領選では西部の農民を中心に一般投票で百万票を集めて無名で政壇に成長しつつあった。クリーブランドが2度目にも大統領に就任後は、生憎、恐慌に見舞われ、財政破綻の危機を招いた。

1894年に起こったプルマン寝台車会社の労働者のストライキで、会社側の要請を受け連邦軍を派遣してスト鎮圧を企てた。このような反労働者性を露骨に示したことなどが影響し、96年の大統領選では民主党の指名は得られなかった。

なお、クレーブランドは歴代大統領中、最も晩婚で(49歳)、一期目の途中で大統領としてはただ一人、ホワイト・ハブスで結婚式をあげた。



シカゴの車庫が出発したフルマンストライク

COLUMN 浮世離れの航空郵便

海外へ出かけると暇を見つけては友人や家族に絵葉書を書く。もう半世紀以上も昔の年の瀬に、パルティ王国王治世下のイランから友人に宛てて絵葉書に「謹賀新年」と書き送ったところ、日本国内までハイ・スピードで配達された。年内に受け取った友人から、一番早い年賀状を受け取ったとジョーク交じりに礼を言われたことがある。

想定以上に速く郵便物が届けられる国がある一方で、万事スピード化時代において随分のんびりと時間をかけて配達される国もあり、各国の郵便事情もさまざまである。つい最近もあまりにもスローモーション航空便に流石に驚き、どうも現実感が伴わなかった。

その悠長な航空便とは、カリブ海の小島キューバから送った絵葉書である。出国の折ハバナ空港の郵便ポストに投函した3枚の絵葉書が、どこをどう彷徨ったのか、はるばる日本へ届けられたのが、何と3年以上も経った後だった。正にキネスものである。8月31日に投函して、奇し

くも3通とも揃って12月5日に横浜、奈良、福岡各地で受け取られた。日本とは直行便がない国とは言え、あまりにも多くの時間を費やした。だが、不審に首を傾げていた知人も、受け取ってみると却って良い思い出になると喜んでくれたし、絵葉書を手取る前にすでに帰国した差出人の私に会った友人の如きは、頻りにまだもらっていないぞと急かしていたが、受け取った後は、むしろ話のタネにならしてはしゃいでいた。

独自路線を歩む社会主義国キューバでは、社会インフラ整備が遅れて今でも郵便事情は決して良いとは言えない。それにしても万事スピード化の現代社会にあって、ほのかに旅情を伝えてくれる異国情緒たっぷりの絵葉書が、色あせたころに届けられる郵便事情は何とかならないだろうか。航空便にしてこれほど時間がかかるなら、海路船便なら一体どれくらいの時間がかかるだろうか。一度試してみたいのである。

エッセイスト 近藤 節夫



## 観光立国を支える人たち

2000万人は4000万人への道筋  
これらが本番

田村 明比古氏 観光庁長官

東京都出身。東大法学部卒。  
1980年運輸省（現国土交通省）  
入省。運輸政策局観光部旅行振興課長などを経て11年  
鉄道局長次長、12年9月航空局長。15年9月に現職。60歳。

■米国の大統領に共和党のトランプ氏が就任しました。  
日本の観光行政にどう響きますか？

予想外の結果でしたね。当面は円高などになって外国人旅行者に影響が出るかもしれませんが、長い目で見ればそれほど影響はないのではありませんか。私たちが与えられた状況の中で淡々と仕事を進めてゆきます。

■日本への外国人旅行者が予想以上に早く10月くま  
2000万人を突破しました。この数字をどう見ますか？

10年ほど前的小泉内閣の時に観光立国宣言をした時は400万人でした。それが5倍になったというこれはうれしいですね。リーマンショックの11年3月には600万人に落ち込んでおそその後の変化は大変なものです。2千万人などともいえないだろうと思っていた人が多かった中での快挙です。しかし、フランスは8千万人で米国やスペインでも7千万人の旅行者でさびわっています。世界から見るとまだまだだと思います。

■この数字が出た要因は何でしょうか？

いくつかの要因があると思います。この数年でアジア新興国が素晴らしい経済成長を遂げました。生活水準も上がりました。旅行をしようという需要が生れてきました。そこに格安旅客会社（LCC）が増えてきて日本へ来やすくなりました。東南アジアからの旅行者の6割がLCCで来ています。旅行需要の拡大と交通手段がマッチしたことが大きいです。さらに言えば第二次安倍内閣で3本の矢の一つとして観光が注目されて政府が力を入れてくれました。観光ビザの緩和や買い物での免税品の拡大などがりました。金融政策により円安になったこともプラスでした。さらに海外からの観光客を招くために政府観光局（JNTO）が各国に観光客の誘致運動をしてくれたことも効果も出てきました。

■2020年に4千万人、2030年に6千万人の目標を「明日の日本を支える観光ビジョン」で打ち出していますが、実現しますか？

観光客の数字も大切ですが、私は観光客が落とす消費額も大切だと考えています。3年前は1兆円、2年前が2兆円、昨年は3.5兆円になりました。この数字は電子部品、鉄鋼部品、自動車部品の輸出額に並ぶものです。これだけの数字を稼いでいることは人口が減っている中

でアベノミクスの大きな柱になって自らを自負しています。こうしたことも官邸が力を入れてきており、全庁が協力するようになってきました。内閣府は外国人の観光客のために迎賓館をオープンし、国立公園なども入れるように環境省が協力してくれます。総理自らが観光に力を入れてくれることは4千万人への実現も可能です。

経済ジャーナリスト 阿部 和義

## カリブ海駆け足旅行記（1）

観光学博士 寺前秀一

米大統領選挙時に現地ではスマホを活躍した。航空券、宿はネットで手配し、現地でスマホを活用した。利用者の9割を占める米国人にとってカリブ海クルーズは国内旅行の延長感覚である。横浜から台湾航路と距離的には同程度のものだから、巨大な需要を生み出す中国人利用者が増加すれば、極端の大産業に発展する。米人出国はニューヨーク、マイアミ等上位10都市で76%を占める。邦人出国率は東京26%、神奈川20%等都市に集中する（ボトムの青森は2.8%、秋田3.1%等）。なお、泊食分離が検討されているが、クルーズは典型的なオールインワンであり、クルーズ客は宿泊を伴わないので国際旅行統計では大半除外されていることを日本の観光地は認識しておいた方がいいだろう。



ケイマン諸島 クルーズ船が見える

カリブ海島嶼部で人口百万人を超える地域はキューバ、ドミニカ共和国、プエルトリコ、ジャマイカ、トリニダードパコである。1人当たりのGDPが2万ドルを超える地区はプエルトリコ、バハマであり多くは1万ドル以下である。クルーズ客到着数百万人以上の地域は、バハマ諸島、コズメル（メキシコ）、米領ヴァージン諸島、セントマーチン、セイントジョンズ諸島、ジャマイカ、プエルトリコの順である。航空機到着客数（Stop-over）百万人以上の地域は、ドミニカ共和国、キューバ、ジャマイカ、プエルトリコ、アルバの順である。国際観光収入の上位国がドミニカ共和国、バハマ、キューバ、ジャマイカ、アルバの順であるから、航空旅客の数が影響する。例えばバハマでは航空旅客は1500米ドル消費するのに対して、クルーズ旅客は80米ドルである。

キューバを除くクルーズの延べ訪問客は2千4百万人、これに延べ450万人のクルーズ船従業員が加えられる。一港の1人当たりの平均滞在時間が4～5時間であり、乗客1人当たり支出額は104米ドルと予想外に小さいのである。内訳は時計・宝石が3割と免税品が5割とあり、タクシーは4ドル未満であるから概して支出はしていないのである。

## “観光列車”をみる ①

JR東海相談役 須田 寛

一その経緯一

「鉄道」は「観光」と密接な関係をもって発展してきた。へどに日本では明治時代から「鉄道」（旧国鉄）が「観光」を主導してきたといっても過言ではない。「観光」はその性格上公的主体の施策に依存する面が強い。とくに国際観光は国の外交政策、経済政策の一環としてすめられることが多かった。

明治45年最初の国際観光旅行あつせん機関一公設旅行社としてJTBBを設立したのも当時の国（鉄道院）であった。この鉄道局は省内に観光局を設け国内外の観光振興に努めた経緯がある。

「鉄道」と「観光」の関係については平成24年に本会報に2年間にわたってその経緯について連載させていただいた。近年「観光立国」の旗印のもとに国をあげて観光推進に取り組むようになった。旧国鉄から脱皮したJRをはじめ国内の各鉄道会社は観光推進に注力しその中心的役割を果たしつつある。最近各地に新幹線の開業があり、それに刺激されて主な観光路線に「観光列車」が運行されるようになり、その数100を越え、益々増加している。なかには地域を代表する観光資源となったもの、季節の風物詩として地域の観光シーズンを象徴するものなども登場している。そこで観光列車100件到達を機に、各地の「観光列車」のうち特色あるもの、観光資源としての評価の高いものを概観してみたいと思う。

（観光列車の歩み）

鉄道は公共機関として国の観光施策の推進役としての役割を担ってきたが、その商品としての「列車」は「観光」と次のようななかかわりをもつ。

- ①観光地への「アクセス（到達）手段」としての役割
- ②観光の「付加価値」を高める役割  
（列車からみる沿線の景観やその案内等による）
- ③鉄道「利用（乗車）そのもの」が「観光」となる役割

「観光列車」は、この三つの役割のうち主に②、③にあたるものが多く、近年急速に発展してきたものである。①は鉄道発足以来どの鉄道も、自然に果たしてきた基本的な鉄道の機能であり、②も鉄道初期の頃から次第に観光効果を高める働きをした。とくに「観光」を意識した列車として記録に残るのは①、②の役割の列車からである。

明治30年前後から主な鉄道に季節による「観楓列車」、「観桜列車」、「観梅列車」等が運行され始めた。

しかし本稿とりあげる③の役割を中心とする本格的「観光列車」は昭和5年の名古屋一宮間に運行されたものが嚆矢ではなからうか。

昭和5年、国鉄高山線が岐阜一下呂間に開通した。その時期運行された、当時の名岐鉄道（現名鉄）大山線と国鉄高山線にわたる国鉄直通の臨時列車がそれである。即ち名古屋市切町から犬山線（新）鶴沼まで貨物臨時電車として運行、鶴沼から山貨車授受線を通じて国鉄高山線に入り下呂までSLけん引（ハンタグラフをおろし）客車として運行の国鉄直通列車という異例のものであった。



切町～鶴沼～下呂の位置

車内は畳敷きとし天井から提灯を下げ車内も座布団敷き、和風の衣装としたなかで食事を楽しむつ（芸妓も入った）といわれる）下呂まで運行し、「走る宴会列車」といわれた。当時の写真も今に残る（貸切の臨時列車だったのだが、

当時の地元と鉄道会社の強い要望で実現したという）。

その後戦時体制となり、「観光列車」の発展はみられなかったが、昭和25年国鉄盛岡管理局で戦時中座席車に改造した3軸ボギーのものと寝台車を畳敷きのお座敷客車に改造、車内で観光イベント等を開く等して運行した記録がある。その後40年代に入ると国鉄は地方の主な鉄道管理局にお座敷列車を編成単位で常備し、貸切観



写真所蔵：名鉄資料館

光列車として連結するようにした。これがのち洋風のサロンカーにも発展し国鉄からJR各社に引継がれ、さらに様々な趣向のものが開発され民鉄にも波及する。

東北、山陽、九州に新幹線が開業すると観光客のウエイの高い路線となったこともあって、観光地への連絡列車の強化が求められた。そのため新幹線連絡の「観光列車」が「アクセスの過程を楽しむ列車」から一歩進んで「乗ったときから観光地」をめざして新幹線開通の北陸、東北、九州等を中心に急増するようになった。

その主なものを順次ながめていきたいと思う。

25年ぶりのリーグ優勝で盛り上がった  
広島東洋カープの経済効果  
～広島県で年間34.0億円～

## 中国電力株式会社 エネルギア総合研究所

2016年、プロ野球の広島東洋カープが25年ぶりのリーグ優勝と日本シリーズ進出を成し遂げ、地元広島県は大いに活気づいた。25年といえば四半世紀で、20代以下のファンや県民の多くが生まれて初めてカープの優勝を目にしたこととなる。ファンや広島県民にとっては、それくらい待ちに待った優勝であった。

最後にカープがリーグ優勝したのは1991年で、このときの優勝経験をもつ現役のカープ選手は、もはや一人も残っていない。5年後の1996年にはペナントレース中盤まで首位を独走しリーグ優勝の一手手前までだが、長嶋茂雄監督(当時)が率いる読売ジャイアンツに大逆転優勝を許してしまっ。その後のカープは、15年連続のBクラス(4位以下)を記録するなど、停滞期が続いた。

2009年以来的の本拠地球場、マツダスタジアムがオープンしたことがカープにとって一つの転機となった。老朽化した旧広島市民球場に替わって、米国製のオープンパークを参考にしてつくられた総天然芝の開放的なオールシーズン球場で、その快適な観戦環境などから観客数は急増。旧広島市民球場時代には平均110万人程度だった年間観客動員数が、オープン初年(2009年)には187万人に急増。その後、年間150万人を上回る観客が球場に足を運んでいる。

2015年には、大リーグから黒田投手、阪神タイガースから新井選手といったベテランの復帰もあってファンの期待が高まり、年間観客数は初めて200万人を突破した(211万人)。



2016年のカープは、6月に11連勝するなど破竹の勢いで勝ち星を積み上げ、7月以降はほぼ独走状態で優勝を成し遂げた。レギュラーシーズンの主催試合の観客動員数は約216万人とカープ歴代最高を更新。加えて、クライマックスシリーズ4試合と日本シリーズ3試合が初めてマツダスタジアム(広島市)で開催されたことから、この観客数を加えると年間約237万人に上る観客が球場に詰めかけた。広島県の人口が280万人程度であることを考えると、大変な数の観客がスタジアムを訪れたことになる。

盛り上がったのはスタジアムばかりではない。リーグ優勝後の2016年9月から11月にかけて県内各地の商業施設等で優勝セールが催され多くの買い物客で賑わった。とりわ

け9月10日のリーグ優勝決定直後のセールは盛況で、広島市内の百貨店・ショッピングセンターなどでは元日初売りの2倍に達する売上高を記録する店や、開業以来の最高の1日当たりの売上高を記録する店舗もあらわれるなど、近年まれにみる盛り上がりとなった。

また、11月5日には広島市内中心部の平和大通りで41年ぶりの優勝パレードが開催され、沿道には約31万人のファンが押し寄せカープ選手に声援を送った。パレード後にマツダスタジアムで開催された「優勝報告会」にも別途3万人余の観客が詰めかけ、球場は特大カーの赤で染めあげられた。

こうした盛り上がりのおかげで、中国電力(株)エネルギア総合研究所では日本シリーズ終了後、広島県における2016年の広島東洋カープの経済効果を試算した。具体的にはカープの広島県内での試合開催に伴う観客の消費と、優勝セールやパレードなど優勝関連イベントに伴う消費支出を推計し、それらに起因する経済効果を、「広島県産業連関表」という経済統計を利用して算定した。試算結果によると、広島県での経済効果は年間約340億円(前年比約92億円増)となり、これに伴う雇用効果は年間約3,250人(前年比約870人増)となることが分かった。この数字は、黒田投手の復帰で観客動員数が大幅に増えた前年(2015年)を大幅に上回る試算結果で、経済効果、雇用効果ともに過去最高となった。大幅増加の主な要因としては、

年	経済効果(億円)	雇用効果(人)	観客動員数(万人)	カープのリーグ順位	
2016年	340	3,250	2,373.0	優勝	
前年(レギュラーシーズン)	278	2,540	216.0		
前年(全)・前年(全)	21	200	22.1		
前年(全)・前年(全)	41	410			
資料)	2016	248	2,380	211.0	4位

①レギュラーシーズンの観客増加で消費が伸びたこと(いわゆるカープグッズの販売も含む)、②リーグ優勝および日本シリーズ進出に伴い、クライマックスシリーズと日本シリーズの計7試合がマツダスタジアムで開催されたこと、③カープの優勝で消費マインドが刺激されるなか、県内各地の商業施設等でいわゆる優勝セールが催され大いに賑わったこと、④41年ぶりの優勝パレード・優勝報告会が催され多くの人があつたこと、などが挙げられる。

カープの2016年の経済効果、雇用効果はともに広島県経済の0.2%を占めるに過ぎないが、カープの活躍がファンの消費を大いに促し、地域経済を活性化させた貢献は小さくない。また、「カープ女子」といった言葉が流行しているように、いま関東地方をはじめとして広島県外の地域でもカープファンが増えているようにだが、今回のカープ優勝でこれ以上に多くのファンが広島県外から広島を訪れ、ホームゲームでの応援を楽しむことになれば、地元での経済効果は一層大きくなる。遠来のファンには、野球観戦のほかにも、広島食や歴史・文化をじっくり楽しんで帰っていただきたいものである。そのためのPRや環境整備もまた重要である。(森岡隆司)

## 「カラオケ」の効用

小田急電鉄㈱ 特別社友 利光 國夫

「カラオケ」なるものが何時誰によって発明されたのかは知らないが、今や海外でも日本文化を代表する娯楽の一つになっているように、私は現役の頃付合せて仕方なくやったことはあるが、自進門でカラオケの歌ったことはほとんど無かった。本職で以前言及した「真年會」の仲間にはカラオケ大好きという者が何人か居て、幾度か誘われたのだが「俺はあまり好きじゃないから」と断るのが常だった。それが今は彼がカラオケの常連になっているらしいので、そのきっかけは胃カメラの検査である。私は75歳を過ぎてから認知症検査という手続きの類は一切止めて、特別辛い症状も無ければ医者以外も好きにならなくて、もっぱら天命を待つことになっているのだが、以前は年2回くらい必ず検査をうけていた。

## JN協会観光立国セミナー(於:海事センター)

第128回(12/9)「観光資源としての不可能立体錯視」  
明大大学院 知財戦略機構 特任教授 東京大学名誉教授 杉原 厚吉氏

不可能立体とはありえない立体的印象、だまされ不可能図形のことであり、不連続のトリック、曲面のトリック、非直角のトリックなどがある。何故なら画像には奥行き情報がない。人間は非直角が好きで錯覚しやすい、あまりい動かないのである。錯視を利用して観光資源としては観覧船やゆがんだ家などがあるが、有名なものは四国屋原のお花びらドライブツアーや韓国濟州島のミステリー道路など上り坂を下り坂を錯覚する場所が観光スポットになっている。小池道子氏は多くの観光客が写真を撮るため観光資源としての可能性があると、錯覚スポットによって図形を変えるミニモデル、大型遊具、だまされ立建物、だまされ道路、ミニストリート道路がある。不可能立体は第1世代の不可能体、第2不可能ミニストリート3変身立体4連続立体5トロゾグー搬立立体まで段階があり、いずれも「数理的性質」や「心理的性質」を利用して。

## NEW SPOT in Japan 60

### 鹿沼屋台遺産

全国18府県伝統的山車祭り33件が「山・鈴・屋台行事」として2016年12月、ユネスコ無形文化遺産に一括登録された。八戸(青森) 新庄(山形)川越(埼玉)佐原(千葉)の山車行事、秩父(埼玉)高山(岐阜)花輪(秋田)の屋台、博多祇園(福岡)の山笠や長浜(滋賀)唐津くちん(佐賀)日田祇園(大分)の曳山行事など、いずれも国の重要無形民俗文化財だ。祭り呼び名は山車、屋台、曳山、山、舟、車山、山笠、山笠などいろいろだがどれも山車の一種で本来「出しもの」の意味という。京都祇園の山鉦行事と日笠屋台はすでに登録済みだが今回一括登録に組み込まれた。

登録の一つ、栃木県鹿沼市の「鹿沼今宮神社祭りの屋台行事」はこれまで全国的に地味な存在だったが、聴衆の目の前を誘っていく鹿沼市の魅力が若者らの上心を呼び、人気も徐々に高まった。江戸時代から200年以上の歴史を誇る多く、繊細かつ豪壮で迫力ある彫刻で飾る27台(16年は24台)が町中を練り歩く。「屋台」というと仕事帰りの一杯やラーメンのイメージ

あるప్పక్కားの検査で慢性胃炎があるといわれた際、医師が言うには「これは薬など飲まなくてもカラオケでも怒鳴っているほうがいいですよ」とで「カラオケ健康法」という本が売れた。それでカラオケ大好き仲間に参加する次第となったが、確かにカラオケを歌っている最中は何か悩み事があっても考える余裕がない。大きな声を出す機会も昔は新しいの肺活量にプラス、毎回同じ歌という訳にはいかないから無心に歌詞やメロディを覚えるのは脳を使うという訳でなかなかの効用がある。家で練習していると声楽をやっている家人が「あなた音程が内落ち」とケチを付けてのドレインにもって歌っているが、人間はやはり男が大切で最近では家内がたまに褒めるようになった。そして何よりの効用は大声を発してストレス発散した後、仲間を飲み交すお酒の味である。カラオケなどバカにしている方、一度お試し下さい。

第129回(1/20)「利用者・観光客から見た築地市場」  
元朝日新聞記者、日本旅行作業協会会員、JN協会会員 林 荘祐氏

最初に市場の位置や建物の配置、場内と場外の違い、使用している独特の車など重要な説明があり、次に豊洲市場を打ち出した2009年東京都から豊洲市場移転の築地市場の移転整備の経緯紹介とそれに対する疑問点の話を聞いた。築地市場の元祖は日本橋区京橋であり、大坂の御所から始まったと聞くと歴史、その史料も紹介された。市場が現在の豊洲に移転したのはバブル大震災がきっかけであり、場外市場460店舗は豊洲に移動せず昨年11月に場外築地魚市場がプレオープンした。なぜ豊洲に土地がなかったのか、小池道子知事の記者会見での発言、座ごね問題や汚染水の調査結果などが考えられるが、昔ながらは誠実なチキン多元と他市場外産品など登録されている。場内市場のみで移転で力を得て、狙をすかしたか、じっくり考える必要がある。築地市場の跡地は、大粒車場にして、後に商業施設やマンションなど大規模開発する、カジノをつくる、食文化伝承施設、テーマパークなど様々な案が検討されている。築地が、豊洲か、その他、なぜこのような事案になつたのか、どう解決するか、安全、公平、納得の立場で

ジが浮かぶが、祭りの屋台は奉納踊りなどのための移動式の簡単な屋根付き舞台だった。交差点などで複数の屋台が向かい合って囉子を激しく競うప్పక్కားが見えた。笛や太鼓の調子を狂わせず競走し、周りは提灯や歌声ではやし立てる。毎年10月鹿沼まつり行事で催される16年は30万ほどの人出でにぎわった。

市は登録記念式典を開いて盛り上げ、同市文化活動交流館で2月上旬まで祭りの歴史や文化を体験展示する。ユネスコ無形文化遺産は16年に創設し、芸能や祭り、伝統工芸技術など250件以上が登録されている。日本は08年登録の能楽、人形浄瑠璃文楽、歌舞伎をはじめ、雅楽、小千巻、越後長火、結城紬、アユ古式踊踏、和食、和紙など22件が登録済みだ。今後、書道、和服、木造技術、将棋、俳句、海女など登録を目指す動きがある。(文・写真 林 荘祐)



鹿沼今宮神社祭りの屋台行事(2016年10月9日)